

# Makuhari's Memory

## 課題に取り組むヒントが盛りだくさん

近年、市町村の管理職が備えるべき知識や能力は、業務管理や職員指導といった組織内部からの要求はもとより、議会や住民、場合によってはマスコミ対応など、社会的にも求められることの幅が広がり複雑さを増していると感じていました。

そんな思いを抱きつつ、全国から参加された49名と共に、令和5年7月12日～14日の3日間「管理職の必須知識講座」を受講いたしました。

座学では、今の時代に管理職が知っておくべき事柄の研修タイトルが並びます。それぞれの講師の皆様は、深い見識をお持ちなのはもちろんのこと、それを広く伝えていこうという思いがひしひしと感じられ、経験に基づいた盛りだくさんの情報から、課題へ取り組むためのヒントを得ることができました。

また、グループ討議では、様々な立場の参加者と情報交換することで、業務や人事など日頃のジレンマや課題を共有でき、大勢の仲間が作れたことでとても勇気づけられました。

私は、特別職の立場での参加でしたが、管理職にはどのようなことが望まれているのかを知ることが、今後の活動のために大変役に立つことばかりでした。

この研修で得たことは、職場内からも地域からも信頼される行政職員として、小さなことでも改善を積み重ねていくための糧にしたいと思います。

改めて、講師の皆様をはじめ研修に携わった全ての方々と、仲間となった参加者の皆様に感謝申し上げます。

これから研修に参加される方には、ぜひ臆することなく周りに話しかけてみることをお勧めいたします。研修に臨む不安な気持ちはみんな一緒だと知ること、肩の力もちょっと抜けて、その後の研修にもより身が入ること請け合いです！



### 金子 隆

東京都小笠原村  
副村長

〈受講研修科目〉  
管理職の必須知識講座  
第37期第1組（令和5年度）